

「韓国元徴用工問題」 和解への展望

第41回

現代を考える連続講座

— 和解により未完の日本国憲法を補完する —



【講師プロフィール】

- * 1945年生まれ、1975年東京弁護士会登録。日弁連人権擁護委員会委員、関東弁護士会連合会憲法問題協議会委員長。
- * 元西松安野友好基金運営委員会委員長を経て、現在、日弁連憲法委員会委員。中国人強制連行・強制労働問題(花岡、西松、三菱マテリアル)など戦後補償問題、靖国問題などに組む
- * 著書として『弁護士 一法の現場の仕事人』(講談社新書)、『戦後補償を考える』(同)、『戦後の思考 一人権・憲法・戦後補償』(れんが書房新社)、『和解は可能か』(岩波ブックレット)、『戦後が若かった頃に思いを馳せよう』(三一書房) など著書多数

7月4日、日本政府は、半導体製造に必要な3品目を輸出規制しこの輸出管理強化は、世界貿易機関(WTO)協定に違反しない。元徴用工問題も1965年の日韓請求権協定によって解決済みとの立場を強調し、マスコミや週刊誌も韓国パッシングを続けています。韓国は『敵』なのか!

この問題の本質を内田弁護士から講演いただき、戦争責任、植民地支配の清算、沖縄から、日韓民衆の連帯へと、和解への展望を考えます。

★講師: **内田雅敏** 弁護士

★日時: **11月22日(金)**

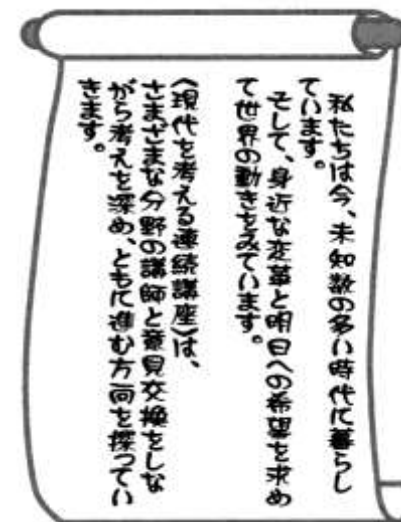
午後6時半～8時半(午後6時開場)

★会場: 千代田区 **富士見区民館**

★資料代: **800円** ★質疑・意見交換の時間があります

主催: 現代を考える連続講座実行委員会 (連絡先) TEL 03-6380-9824
後援: 地方自治研究会、新社会党東京都本部 FAX 03-6380-9963

どなたもお気軽にご参加ください



JR・メトロ飯田橋駅下車 徒歩5分
住所: 千代田区富士見1-6-7